

地震情報トラッカー 仕様書・操作マニュアル

地震情報トラッカー 仕様書・操作マニュアル

1. アプリケーション概要

このアプリケーションは、P2P地震情報APIから直近の地震情報を取得し、最大震度3以上を観測した地震を一覧で表示するWebアプリケーションです。選択した地震の詳細情報を確認できるほか、動画配信のテロップとして利用することを想定した「情報表示バー」機能を搭載しています。

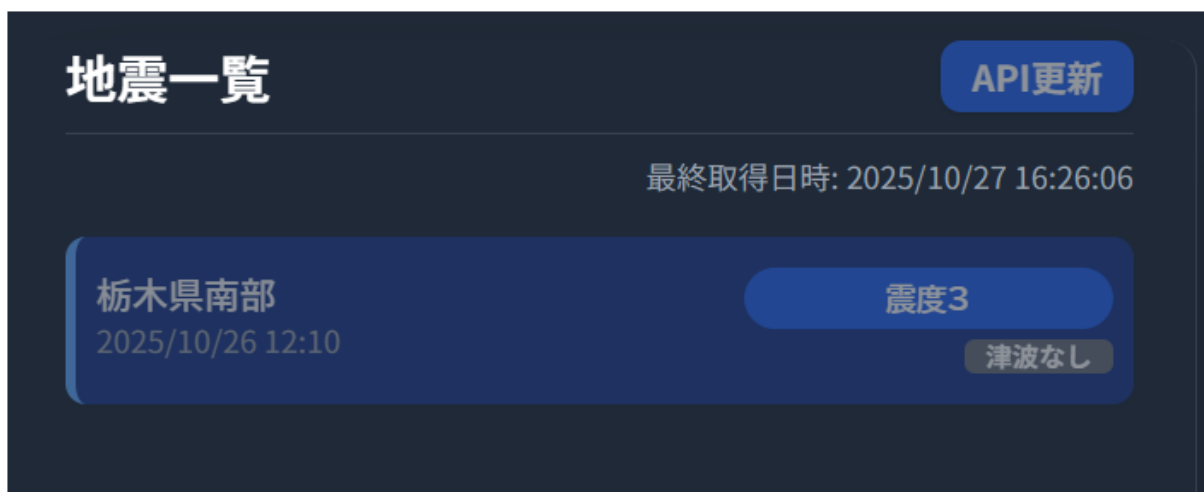
2. 主な機能

- 地震情報の自動取得・更新: 定期的に最新の地震情報をAPIから取得し、画面に反映します。
- 地震一覧表示: 最大震度3以上の地震を発生時刻の新しい順に一覧表示します。
- 地震詳細表示: 選択した地震の震源地、マグニチュード、各地の震度などの詳細情報を表示します。
- 表示モード切替: 詳細表示パネルの震度別観測地点を「市区町村別」または「観測点別」で切り替えられます。
- 情報表示バー(テロップ機能): 選択した地震の情報を、配信画面に載せることを想定したテロップ形式で表示・再生します。

3. 画面構成と操作方法

画面は大きく分けて「地震一覧パネル(左側)」「地震詳細パネル(右側)」「情報表示バー(画面下部)」の3つのエリアで構成されています。

3.1. 地震一覧パネル(左側)



UI要素	機能説明
API更新ボタン	クリックすると、手動で最新の地震情報に更新します。更新中は「取得中...」と表示されます。
最終取得日時	最後にAPIからデータを取得した時刻を表示します。
地震リスト	震度3以上の地震が一覧表示されます。各項目には「震源地」「発生時刻」「最大震度」「津波情報」が表示されます。
	操作: リスト内の項目をクリックすると、右側の「地震詳細パネル」と下部の「情報表示バー」の内容がその地震の情報に更新されます。選択された項目は青くハイライトされます。

3.2. 地震詳細パネル(右側)

地震詳細

市区町村別観測点別

栃木県南部

震度3

発生日時: 2025/10/26 12:10 マグニチュード: M3.7 震源の深さ: 約10km 津波の有無: この地震による津波の心配はありません。

震度別観測地点 (市区町村別 / 震度3以上)

震度3 (1 地域)

日光市足尾町

震度2 (1 地域)

日光市足尾町

震度1 (36 地域)

かすみがうら市 つくば市 ひたちなか市 みどり市東町 笠間市 久喜市 宮市中岡本町 宮市中里町 宮市明保野町 桐生市黒保根町 高根沢町 佐野市 佐野市高砂町 佐野市田沼町 鹿沼市 鹿沼市今宮町 取手市 沼田市西倉内町 常陸太田市町屋町 常陸大宮市 常陸大宮市北町 壬生町 水戸市金町 水戸市千波町 水戸市内原町 土浦市 東海村 栃木さくら市 栃木市岩舟町 栃木那珂川町 日光市 日光市御幸町 日光市今市本町 日立市 片品村 芳賀町

UI要素	機能説明
市区町村別 / 観測点別 トグルスイッチ	震度別観測地点の表示粒度を切り替えます。 ・**市区町村別**: 同じ市区町村内の複数の観測点は1つにまとめて表示します。(デフォルト)

UI要素	機能説明
	・**観測点別**: 全ての観測点名を個別に表示します。
地震情報ヘッダー	選択した地震の「震源地」と「最大震度」を表示します。
サマリー情報	「発生日時」「マグニチュード」「震源の深さ」「津波の有無」に関する詳細情報を表示します。
震度別観測地点	設定された表示モード(市区町村別/観測点別)に基づき、震度3以上の揺れを観測した地域を震度別に一覧表示します。

3.3. 情報表示バー(画面下部)

選択した地震の情報を、配信テロップのように1ページずつ表示・再生するための機能です。



操作パネル(左側)

UI要素	機能説明
秒数入力欄	自動再生時の1ページあたりの表示時間を秒単位で設定します。(デフォルト: 10秒)
ループ回数選択	自動再生を何回繰り返すかを選択します。(デフォルト: 3回, ∞で無限ループ)
◀/▶ ボタン	情報ページを手動で前後に送ります。自動再生中は無効になります。
ページ情報	現在のページ / 総ページ数 を表示します。自動再生中はループ回数も L:現在のループ/総ループ の形式で表示されます。
再生/停止ボタン	情報の自動ページ送りを開始・停止します。
トランジション選択	ページ切り替え時のエフェクトを「カット」または「スライド」から選択します。
リセットボタン	情報表示バーの表示を初期状態(非表示)に戻します。自動再生も停止します。
その他設定アイコン	クリックすると「設定」モーダルが開きます。

コンテンツ表示エリア(右側)

UI要素	機能説明
震度バッジ	現在表示している情報ページの震度階級やカテゴリ(例: 概況, 津波)を表示します。
テキスト表示エリア	地震の震源情報や、震度ごとの観測地点名などを表示します。文字には黒い縁取りが適用されます。

OBSでの利用方法(推奨)

情報表示バーの右側(コンテンツ表示エリア)は、背景が透明になるように設計されています。これにより、OBS Studioなどの配信ソフトでクロマキー合成を行うことなく、簡単にテロップとして利用できます。

1. OBSで「ソース」を追加し、「ウィンドウキャプチャ」を選択します。
2. キャプチャするウィンドウとして、このアプリケーションが表示されているブラウザを選択します。(ソースサイズは 1500x900 以上)
3. ソースの「プロパティ」を開き、「透過を許可」のチェックボックスをオンにします。

以上の設定で、ゲーム画面やその他の映像の上に、背景なしで地震情報テロップを重ねて表示できます。

3.4. 設定モーダル



UI要素	機能説明
再生/停止ショートカット	情報表示バーの自動再生を開始/停止するためのキーボードショートカットを設定できます。入力欄を選択し、設定したいキーの組み合わせ(例: Ctrl + Space)を押してください。
情報画面に表示する最低震度	情報表示バーで再生される震度情報の最低ラインを設定します。例えば「震度4以上」に設定すると、震度3の地域情報は再生されなくなります。(デフォルト: 震度3以上)
保存ボタン	設定した内容をブラウザに保存し、モーダルを閉じます。

4. 仕様詳細

- **API:** P2P地震情報 API v2 を使用しています。
 - 地震情報(コード: 551)と津波情報(コード: 552)を取得しています。
- データ更新頻度:
 - 自動更新: 2分ごと。
 - 手動更新: 「API更新」ボタン押下時。

- リスト表示対象: APIから取得した直近100件のデータのうち、最大震度が**3**以上 (`maxScale >= 30`) の地震。
- 情報表示バーのページ分割:
 - サマリー情報や観測地点リストがテキスト表示エリアの2行に収まらない場合、自動的に複数のページに分割して表示します。
- 設定の永続化:
 - 「ショートカットキー」と「情報画面に表示する最低震度」の設定は、ブラウザのローカルストレージに保存され、次回アクセス時も維持されます。